

私は町の公民館で「やさしい中国語」を受け持って、日常に使うごく基本的な中国語の勉強とあわせて「論語」「大学」「中庸」「老子」等の簡単な言葉を中国語で読むようにしております。

いま日本及び中国の80%以上の人々が、お互いに良い感情を持っていません。今後の中国の発展を考えた場合、近隣国としての日本としても深刻な問題ではないかと思えます。テレビ等で見る現在の中国の動きにはやはり好感情を持たせるものとは少ないと思えます。しかしお互いが感情国家になるのではなく、理性国家になる必要が今後のために必要ではないでしょうか。

私の働いた時代は、資源の少ない日本として加工貿易立国を目標にして、先進国のトップランナーの背中をみて、走り続けました。そして今の日本はトップランナーの一員となって、今後、どんな走り方をしてどんな方向に向かってゆくかに途方にくれているところがあるのではないのでしょうか。その当時は英語を中心にて、先進の経営技法、各種の技術を取り入れ、応用をすることでよかった時代ではなかったかと思えます。

日本は明治維新以降、ヨーロッパを中心として政治、経済、技術、文化等を取り入れ、第二次世界大戦後はアメリカの占領政策のよりアメリカ中心の制度改革が行われ、かなり西洋仕様の国になっているのではないのでしょうか。その裏には、千年以上も吸収をしてきた中国を中心とした東洋思想がなおざりにされてきたのではないかと考えます。

中国の古典も漢文とか中国語の対象としてではなく、人類の精神文化遺産として日本人の現在の立場から解釈をしてゆく。かつての日本が漢字からカタカナ、ひらがなを作ったような考え方で21世紀に応用できるような柔軟な解釈をこれらの古典に対してやってゆくことも日本として必要ではないのでしょうか。

日本文化を基礎として、西洋、東洋の文化を吸収してきて世界のトップランナーの一員となった日本の次の世代は、今度は英語を使って日本の考え方を世界に発信してゆく時代になるのではないのでしょうか。その意味でも若い世代は、奮起をしてほしいと思えます。

私たちの中国語のグループは日暮れて道、なを遠しの世代の少数グループですが、孔子の「楽しみを持って憂いを忘れ、老いのまさに来たらんとするを忘れる」をモットーに次の世代のさらなる活躍を祈りつつ精進を続けてゆくつもりです。

764-0034

香川県仲多度郡多度津町山階2295-1

大谷雅昭(75歳 無職 男) TEL 0877-32-2048